

副産物情勢

10月10日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目			内 容		備 考		
内 臓	1.国産牛	○ 8月の成牛と畜頭数は、78.4千頭(前年比95.4%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:37.9千頭(前年比98.4%)、交雑牛:19.0千頭(同99.2%)、乳牛去勢:8.3千頭(同80.4%)となった。 ○ 9月の成牛と畜頭数は、速報値(9月30日まで集計)で88.3千頭(前年比98.0%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(9月25日公表)によると、9月、10月の出荷頭数は、交雑種が増加するものの、和牛および乳用種の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。(9月 89.0千頭(前年比98.4%)、10月 95.8千頭(同95.6%)) 3か月平均(8月～10月)では、出荷頭数87.5千頭(前年比96.1%)、生産量27.7千ト(同97.4%)と前年同期を下回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 : 赤物:テール以外は引き続き堅調な動き 白物:小腸、シマ腸の余剰感は継続、他の部位については堅調な動き	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg 価格改定年月日 牛内臓 豚内臓 令和3年4月 26日 25 5 令和3年10月 18日 35 7 令和4年2月 7日 25 5 令和4年4月 4日 35 7 令和4年8月 8日 45 9 令和6年12月 2日 48 9				
	2.国産豚	○ 8月の全国豚と畜頭数は、1,178千頭と前年を下回った。(前年比96.4%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道100.9%、東北98.5%、関東93.6%、北陸甲信越94.7%、東海96.2%、近畿92.2%、中四国91.8%、九州・沖縄97.5% ○ 9月の全国と畜頭数は、1,285千頭(速報値9月30日まで集計、前年比100.6%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は64,260頭(前年実績:67,242頭/日、前年差▲2,982頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;9月24日付け)によると、10月;1,477千頭(前年比101%)、11月;1,321千頭(同94%)、12月;1,428千頭(同98%)、2026年1月:1,347千頭(同96%)、2月:1,266千頭(同98%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約97%と前年を下回る見込み。 ○ 需 給 動 向 : 赤物:供給量が少ないことから、大部分が冷蔵品での出回りとなっている。一部商品を除き堅調な動き。 白物:需要期を迎えるが、活発な動きは見られず、弱含みとなっている。	※乳牛45円/kg ※豚正貫物 2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg 価格改定年月日 牛内臓 豚内臓 令和3年4月19日 25 3 令和3年10月 15日 35 4 令和4年2月 1日 25 4 令和4年3月28日 35 4 令和4年8月 1日 45 5 令和6年12月 2日 48 5				
	3.輸入牛	○ 8月の輸入通関実績は、全体で43.2千トと前年を下回った。(前年比88.4%、前月比92.1%)。 内訳ではチルド:15.0千トン(前年比93.6%、前月比87.5%)、フローゼン:28.3千ト(前年比85.9%、前月比94.7%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州、カナダ、メキシコが増加した。フローゼンは米国が増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要が低調な中、現地価格の高止まりや入船遅れの影響等により、ほとんどの輸入先からの減少が見込まれることから、9月、10月は、前年同月を下回ると予測する。フローゼンは、9月は豪州産のうち主に加工用のひき材に使用されるトリミングの輸入量の増加が見込まれることから前年同月を上回ると予測する。 10月は現地価格の高止まりの影響等から、ほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれることから前年同月を下回ると予測している。3か月平均では、チルド、フローゼンともに下回ると見込んでいる。 令和7年9月 合計:39.2千ト(前年比102.7%)、チルド:13.5千ト(同87.8%)、フローゼン:25.7千ト(同112.9%) 令和7年10月 合計:40.2千ト(前年比91.5%)、チルド:14.0千ト(同89.3%)、フローゼン:26.2千ト(同92.9%) ○ 輸入牛内臓実績(令和7年8月):牛腸(冷凍):916ト(前年比57.3%・前月比67.2%) 国別実績;米国715ト、メキシコ104ト、豪州48ト、カナダ45ト他 牛レバー(冷凍):74ト(前年比46.6%・前月比104.8%) 国別実績;米国50ト、豪州24ト	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 価格改定年月日 牛原皮(和牛) 豚原皮 令和元年7月22日 700 10 令和2年3月16日 500 10 令和2年6月15日 100 10 令和2年7月20日 100 2 令和2年9月28日 10 2 令和3年5月24日 10 10 令和5年10月16日 10 2				
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 8 月): 40,208枚(前年比102.8%、前月比108.6%) 国別実績;タイ37,358枚(前年比120.6%)、韓国1,850枚(同22.7%)、フィリピン1,000枚(前年なし) 輸出平均価格(令和7年8月):2,414円/枚(前年差▲376円、前月差+44円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 7 年 8 月): 牛大判皮18,387枚(前年比113.5%、前月比69.5%)、ウェットブルー8,711枚※(同58.6%、同79.8%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和7年8月):牛大判皮5,562円/枚(前年差▲1,562円、前月差▲1,274円)、ウェットブルー6,667円/枚(同▲4,501円、同+203円) ○ 海 外 情 勢 : 世界的に昨年より大きく価格を下げて流通している。当分厳しい状況が続く。 ○ 国 内 情 勢 : 荷動きに特段大きな変化はみられない。品質が劣るものは価格が安くても引き合いが弱い。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 価格改定年月日 牛原皮(和ヌキ) 豚原皮 令和元年8月15日 1,000 10 令和2年3月16日 800 10 令和2年6月22日 300 10 令和2年7月27日 300 2 令和2年9月28日 10 2 令和3年6月 1日 10 10 令和5年10月23日 10 2				
	2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 8 月): 894,020枚(前年比90.3%、前月比89.4%) 国別実績;タイ766,020枚(前年比86.3%)、カンボジア107,000枚(同145.4%)、韓国21,000枚(同156.1%) 輸出平均価格(令和7年8月):303円/枚(前年差▲135円、前月差▲9円) ○ 需 給 動 向 : 価格はさらに下落した。原皮業者の収支は一層厳しいものとなっている。 夏場の価格が底値との見方もあったが、秋以降も引き続き低価格での流通が続く見込み。					
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(10月渡し):牛脂175円/kg(前年差+30円、前月差+10円)、豚脂175円/kg(同+30円、同+10円) 供給が減少傾向の中、需要は底堅く、需給は引き締まっている。 直近の値上げは食用に確保するために、飼料用油脂価格値上げに連動したものと考えられる。 ○ マレーシア産パーム油相場(9月):218円/kg(前年差+12円、前月差+30円) 8月生産量は185万トン(前月比102.3%)、輸出量は132万トン(同99.7%)、月末在庫は220万トン(同104.2%)となった。 世界的なバイオ燃料の需要の拡大傾向は継続し、中長期的にみて油脂需要の引き合いの強さは続く見込み ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (9 月): 134円/kg(前年差+20円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (9 月): 115円/kg(前年差+20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(9月):143円～146円/kg程度(前年差+20円、前月差±0円)	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg 価格改定年月日 牛脂 豚脂 令和5年4月 1日 165 175 令和5年7月 1日 155 165 令和5年10月 1日 145 155 令和6年7月 1日 145 145 令和7年2月 1日 155 155 令和7年7月 1日 165 165 令和7年10月 1日 175 175				